

学校教育総合プラン実施計画・評価一覧 2019(平成31)~2022()年度

【 逗子市立久木小学校 】

	項 目	4年間を見据えた取組内容 (できるだけ具体的な内容で記載する)	項目別評価								総合評価			
			2019 年度	重点 目標	2020 年度	重点 目標	2021 年度	重点 目標	2022 年度	重点 目標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
教育環境の充実	① 学校安全の推進	防犯・防災・事故防止の観点から、学校施設・設備の点検を定期的に行い、必要に応じて修繕・改修を行う。また、学校安全に関する学校としての対応の基本方針を明確にし、周知を図る。	A	☑		□		□		□	69%			
	② 教育情報化の推進	I C T機器を活用した指導の充実に努めていく。	B	□		□		□		□				
	③ 地域との協働推進	保護者や地域との望ましい交流のあり方を模索しながら、「共に子どもを育てる」という意識を共有し、協働できる関係をつくっていく。	A	□		□		□		□				
	④ 学校評価を生かした学校づくり	学校評価委員会による評価はもとより、保護者用学校づくりアンケートの集計と結果の公表や、地域教育協議会での意見交換・PTA運営委員会での情報交換等の日頃からの外部との意見交換を、学校づくりに活かす。	A	□		□		□		□				
柱Ⅰ 学習指導の充実	① 授業改善の推進	新学習指導要領が目指す資質・能力の育成のために、校内研究・研修を充実させて、教員の授業力向上を図る。	A	☑		□		□		□	69%			
	② 健康体力づくりの推進	健康の維持、体力の増進に向け、発達段階に応じた食育・健康教育を推進する。	B	□		□		□		□				
	③ 体験活動の充実	自然や様々な人やものとの関わりを重視した体験活動を組むことにより、児童に自己の生きかたを考えさせることにつなげていく。	A	□		□		□		□				
	④ 今日的課題への取組	発達段階に応じて体験的な活動を取り入れたり外部講師を招聘したりしながら、今日的課題への意識を高めていく。	A	□		□		□		□				
柱Ⅱ 支援の充実	① 支援環境の充実	子どもたちの多様なニーズに柔軟に応じられるよう、校内支援体制を充実させる。	A	□		□		□		□	69%			
	② 安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	子どもたちの間に、互いに認め合い、尊重し合う人間関係が構築されるよう、教職員が共通理解を持って指導に当たる。	A	☑		□		□		□				
	③ 問題行動対策・不登校対策の推進	学校としてできる「多様性の受容」「合理的な配慮」の具体を探り、児童一人ひとりのニーズに応じた学習形態・登校形態をとれるようにする。	A	□		□		□		□				
	④ 幼・保・小、小・中の連携の推進	幼児期と児童期をスムーズにつなぐスタートカリキュラムづくりに取り組む。また、円滑な中学校進学に向けて、必要に応じて児童の情報を中学校と共有していく。	B	□		□		□		□				
柱Ⅲ 学校組織の充実	① 学校・学年・学級経営の充実	学校の教育活動全般にわたって教職員が一丸となった集団指導体制を意識し、学級運営に当たって生じた課題に対しても教員一人が対応するのではなく、学年または学校という組織で対応することを基本としていく。	A	□		□		□		□	69%			
	② 研究・研修の充実	一人ひとりの教員が自ら学ぶ意欲を持ち続けることを期待し、外部からの講師を招聘する等、校内で教員が学ぶ機会を多く設定し、その内容を充実させていく。	A	□		□		□		□				
	③ 信頼に基づいた指導の推進	逗子市教育委員会が作成している教員の自己チェックシートを活用し、日々の教育活動を振り返り、指導の工夫と改善に努めていく。	A	□		□		□		□				
	④ 働き方改革の推進	子どもたちの学力向上や、これからの時代に求められる学校づくりにつながる教員の働き方改革を進める。	B	☑		□		□		□				

%は、Sを5、Aを4、Bを3、Cを2とし、計算した数値

評価基準 S・・・想定以上の顕著な成果が見られた(100%~91%程度) A・・・想定していた成果が見られた(90%~71%程度)
B・・・一定の成果が見られた(70%~31%程度) C・・・成果が見られなかった(30%~0%程度)